

総事業費	453 千円
交付金額	226 千円

地域の実情と課題

本市においては、市内に本社機能を置く9割以上の企業が中小企業であり、これまで規模的にも企業単体で女性活躍の取組を行うのが困難な状況にあった。

これを踏まえ本市では、まず事業者及び各種団体のネットワーク構築を図るとともに、女性活躍の啓発につながるイベント等を開催するなど事業者や市民の意識啓発を図ってきた。

また庁内の動きとしては、平成28年度には女性自身の声を施策につなげることを目的として「あかし女性の活躍推進会議」を設置するとともに、令和3年度には更なる施策提案のため、庁内横断的に「ジェンダー平等プロジェクトチーム」を設置した。現在は、これらの会議等からの提言書や報告書に沿って、取組を加速させているところである。

事業の特徴

デジタル人材育成セミナーにおいては、講座を開催するにあたり、時間を工夫したり、一時保育を用意したり、受講者が参加しやすい環境を整え、また、個々が講師やハローワークの職員と相談する時間を設けた。

企業向けセミナーにおいては、企業を対象として、新しい働き方が企業にとってもメリットがあるように、経営側から見たワーク・ライフ・バランスの提案を行った。

事業の効果

多様な働き方を提案する「在宅ワーク」をテーマとしたデジタル人材育成セミナーでは定員を大幅に超える申し込みがあり、早速取り組みたいという意見も多数あった。

自分の希望する働き方を目指して取組を始めようと思った割合が94%と、目標値の80%を大きく上回る結果であった。

目的・目標

女性が活躍できる環境や意識の醸成を図るとともに、時間・場所にとらわれず育児・介護等と仕事の両立支援に積極的に取り組む。また、企業向けにもセミナーを開催し、多様な働き方を後押しする一助とする。

【目標】

- ・両セミナーの開催回数3回
- ・デジタル人材育成セミナーの受講者数 60名

【目標達成状況】

両セミナーの開催回数は4回、デジタル人材育成セミナーの受講者は79名(応募者137名)と目標を大きく上回った。

連携団体

ハローワーク明石
明石商工会議所
あかし女性応援ねっと

今後の課題

企業向けセミナーについては、直接企業へ参加を呼びかけるなどしたもの、参加意欲を高めるための工夫や周知方法など参加者の確保について課題が残った。

一方、デジタル人材育成セミナーについては、多くの参加申込があり、入口段階におけるニーズの高さがうかがえたが、起業や就業につながる仕組みづくりまでには至らなかった。

事業の概要

2023年度 明石市女性デジタル人材育成事業

パソコンを使った在宅ワークを知ろう！ ～わたしの時間で始める仕事～

2022年度に引き続き、育児や介護など、何かしらの制限があるために働けなかった方にとっての新たな選択肢を増やし、多様な働き方を推進する有効な手段と考え、在宅ワークをテーマにしたセミナーを開催しました。

開催回数を増やしたものの、定員を大幅に上回る応募があり、関心の高さを実感しました。

開催日時	①2023/11/28 (火) 10:00～14:30 ②2023/11/29 (水) 10:00～14:30 ③2023/12/ 5 (火) 10:00～14:30 ④2023/ 1/24 (水) 10:00～11:00 ※④はフォローアップセミナー
会 場	複合型交流拠点ウィズあかし学習室701
参加者数	①27名 ②28名 ③24名 ④6名

□ 講義 1 「在宅ワークで広がる、私の働き方」

須澤 美佳 さん (株式会社ママントレ 代表取締役)

□ ハローワーク明石より

高下 京子 さん
(明石公共職業安定所 就職促進指導官)

□ 講義 2 「やってみよう！在宅ワーク」

長池 能理子 さん
(Sakura Thanks代表)



2023年度 多様な働き方推進事業

経営戦略としての

ワーク・ライフ・バランス ～元気な企業になるために～ セミナー

若い人材が集まらない…休暇制度導入後のリスク管理や業務の効率化に興味はあるけれどどうしたら良いかわからないという企業を対象に、働き方の選択肢を増やし制度を導入していくことで介護や育児と両立できる人が集まり、選ばれる「元気な企業」になるためのセミナーを開催しました。

開催日時	2023/ 9/21 (木) 13:30～16:00
会 場	明石商工会議所 6階 集会室
参加者数	16名 (応募20名)
講 師	中山正人 さん Office G&C代表 MBA(経営学修士・神戸大学)

前半は講義形式、後半は質問や企業側が疑問に感じていることの質疑応答形式フリートークで進めました。

参加者の多くはDXの導入に興味があり、DXや企業向けコンサルなども手掛けている講師へ、日頃の疑問を質問する場面も多くみられました。

アンケートでは、「これまでに受けた研修内容を現実的にうまく使えなかったが、よいヒントをいただけた」、「具体例や他社の話も聞くことができ、アイデアが増えた。」、「子育て中や介護中の職員が多いので、適した働き方ができる環境整備のヒントをもらった」という回答をいただきました。

企業がDXをうまく活用し、ワーク・ライフ・バランスを確立するための後押しをするセミナーとなりました。

